

さっぽろっ子「学び」のススメ

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。
学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める
共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

さっぽろっ子「学び」のススメは、
子どもと家庭、子どもと学校、学校
と家庭をつなぐとともに、子どもの
権利を大切にするものです。



学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり



まほうのかいわ を合言葉に「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくり！

連携

学校

家庭

大切な5つのポイント

意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。

「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにします。

自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようにします。

生活を自らコントロールする力を育みます。

難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。

札幌市は、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに向けて、「子どもの声を聴く」ことを大切にし、学校教育を推進していきます。

～子どもの声を聴くために～

子どもの気持ちを「受け止める」ことから始めませんか。
「よかったら話してくれないかな？ 思っていることを聞くよ。」
「どんな調子かな？ あなたと話がしたいな。」
「〇〇については、どう？」 「いつでも聞くからね。」

子どもが自分で決めることを **促す** ためには？

「～について、目指したいことは何？」
「～を頑張ったら、どんな自分になれると思う？」
「自分で決めることが大切。自分で決めるまで待ってるよ。」
「～しなさい」メッセージより、「背中を押す」メッセージを！

子どもの伸びを **認める** ためには？

「漢字をこんなに書けるようになっていて、感心したよ。」
「毎日、縄跳びを頑張っている姿が見られて、うれしいな。」
「お手伝いをしてくれて、ありがとう。」
「YOU」メッセージより、「I」メッセージを！

※「I」メッセージ＝「私」を主語にしたメッセージ

子どもの継続した取組を **支える** ためには？

「学校でどんな勉強をしてきたの？一緒に振り返ってみようか。」
「休みの日は、一緒にストレッチやウォーキングをしてみようか。」
「早起きできるようになる方法を一緒に考えてみようか。」
「～続けなさい」メッセージより、「一緒に」メッセージを！

ま
学んだことを一緒に振り返りましょう。

ほう
方法を一緒に考えましょう。

の
伸びを認め、ほめましょう。

かい
改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。

わ
わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。

これからの一年間、家でがんばりたいことは…

一年間を振り返って、励ましの言葉

